

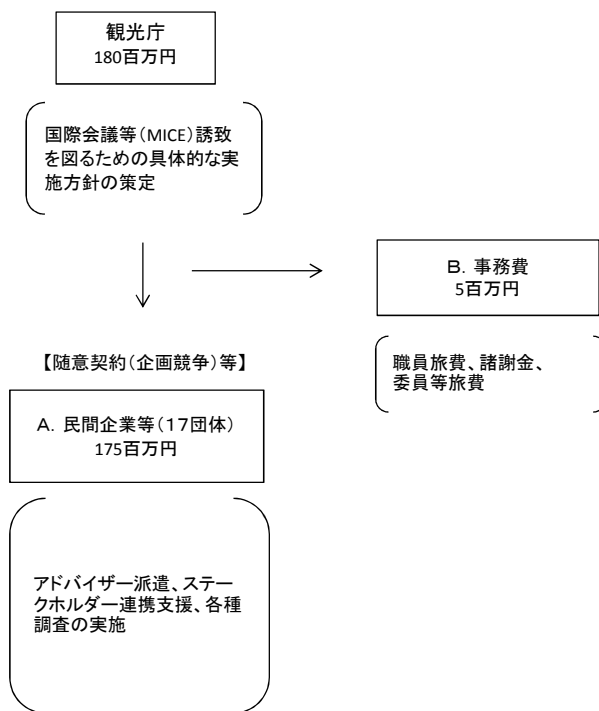
平成28年度行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名		国際会議等 (MICE) の誘致・開催の促進		担当部局庁	観光庁		作成責任者		
事業開始年度	平成20年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	参事官室		田中由紀、高橋良明		
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	観光立国推進基本法第17条			関係する計画、通知等	観光立国推進基本計画、明日の日本を支える観光ビジョン、観光ビジョン実現プログラム2016、日本再興戦略2016				
主要政策・施策	観光立国			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	日本再興戦略で「2030年には、アジアNo. 1の国際会議開催国としての不動の地位を築く」とされたところであり、この目標達成に向け、我が国の国際会議等 (MICE) への取組の強化を図り、国際競争力を高め、その誘致促進を図る。この国際会議 (MICE) の誘致・開催の促進により、①経済波及効果創出、②ビジネス機会、イノベーションの創出、③国・都市の競争力・ブランド力の向上などが図られる。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国際会議 (MICE) の誘致・開催を促進するため、 ①アドバイザー派遣等を通じたマーケティング能力の向上支援等による世界トップレベルのMICE都市の育成 ②地域産業、観光資源、ユニークベニュー等地域の特性を活かしたMICEの推進等に取り組む。								
実施方法	直接実施								
予算額・執行額 (単位: 百万円)	予算の状況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求		
		補正予算	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
		計	405	450	190	199	0		
	執行額	349	413	180					
	執行率 (%)	86%	92%	95%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 28年度	目標最終年度 -年度
	アジアNo. 1の国際会議開催国としての不動の地位を築く	国際会議協会 (ICCA) の国際会議開催数の統計によるアジアの順位	成果実績	順位 (日本)	1	1	1	-	-
			目標値	順位 (日本)	1	1	1	1	-
			達成度	%	100	100	100	-	-
成果目標及び成果実績 (アウトカム) 欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載								<input type="checkbox"/> チェック	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	我が国における国際会議開催件数 (ICCA統計) (*見込み値については、直近10年 (2006~2015) の開催件数の年平均成長率より算出)	活動実績	件	342	337	355	-		
当初見込み			336	345	355	365			
単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	執行額 / 国際会議開催件数 (ICCA統計)	単位当たりコスト		1,015,645	1,226,845	506,598			
計算式		/		347350700円/342件	413446891円/337件	178842381円/355件			
平成28・29年度予算内訳 (単位: 百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由					
	諸謝金	0.6		※百円未満を四捨五入しているため、「予算額・執行額」欄と誤差が生じている。					
	職員旅費	5							
	委員等旅費	0.4							
	外国人旅行者訪日促進対策庁費	160							
	観光振興調査費	34							
	計	200	0						

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策 6 国際競争力、観光交流、広域・地域間連携等の確保・強化												
	施策 20 観光立国を推進する												
	測定指標	定量的指標					単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 年度	目標年度 32年度	
		訪日外国人旅行者数				実績値	万人	1,036	1,341	1,974	-	-	
						目標値		-	-	-	-	4,000	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係												
	国際会議(MICE)の誘致・開催の促進によるビジネス目的の訪日外国人を増やすことは、訪日外国人旅行者数(上記測定指標)を底上げすることにつながる。												
	改革項目 経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	分野:	-										
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)					単位	計画開始時 年度	27年度	28年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度
							成果実績						
				目標値									
				達成度	%								
(第二階層) KPI		KPI (第二階層)					単位	計画開始時 年度	27年度	28年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度	
						成果実績							
					目標値								
				達成度	%								
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係													
-													

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	日本再興戦略及び観光立国実現に向けたアクション・プログラムを踏まえて実施しており、国民・社会のニーズを反映している。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	国が自治体等のMICE力を高めることが必要であり、関係者間で連携しながら実施している。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	日本再興戦略及び観光立国実現に向けたアクション・プログラムに示されているとおり、国際会議の誘致促進は優先度の高い事業であり、アジアNo. 1を維持するために必要かつ適切な事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	企画競争により、最も費用対効果の高い支出先が選定されている。 一者応札となった事業については、説明書を受け取った不参加企業に対し、不参加の理由を確認した。次回入札では改善策を検討。	
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		有		
	競争性のない随意契約となったものはないか。		無		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	グローバルMICE都市との分担を明確にして取り組んでおり、負担関係は妥当である。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	非常に効果的に成果を上げている。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	企画競争により、真に必要なものに限定されている。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	アジアNo. 1の国際会議開催国となっており、成果目標に見合っている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	企画競争により、効果的に事業が実施されている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	見込みに見合った活動である。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	「地域の特性を活かしたMICEの推進に係る調査事業報告書」を配布・公表する等、広く関係者の活用を図っている。都市の誘致力強化につながっている。	
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
関連事業	所管府省・部局名		事業番号	事業名	
点検・改善結果	点検結果	・アジアNo. 1の国際会議開催国となっており、現時点で成果目標を達成している。しかし、日本を含むアジア・大洋州を見た場合、中国などが伸長著しく日本に僅差に迫り、開催件数に占める我が国のシェアは低下・横ばいを続けており、「2030年にはアジアNo. 1の国際会議開催国としての不動の地位を築く」ためには、なお一層の努力が必要。			
	改善の方向性	・国際会議(MICE)の誘致・開催の促進を図るため、MICE関係者との意思疎通を徹底し、なお一層の合理化・効率化を図りながら、連携して取り組んでいくこととしている。			
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
平成27年度予算より、事業の大宗をJNTO運営費交付金に移管。 平成25年度行政事業レビューシートでは、「訪日旅行促進事業(ビジット・ジャパン)」(事業番号244)に含む。					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	479	平成23年度	453	平成24年度	-
平成25年度	244	平成26年度	231	平成27年度	237

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位: 百万円)

A.(株)ADKインターナショナル			B.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	マーケティング戦略の実施支援費	34			
計		34	計		0
C.			D.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
E.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
G.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

